



地域とともにある学校づくり

令和4年度重点目標

「自分の思いや考えを仲間とともにつなぎ、広げていく
子どもの育成～つなごう・広げよう～」

校長 古川 志乃

人と自然が調和する奥八女矢部村に、令和2年4月に矢部小学校と矢部中学校が統合し、福岡県で3番目、八女市で2番目の義務教育学校として矢部清流学園が開校して3年目を迎えます。本校の学校目標「ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な体を持ち、共に伸びる児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ『総がかりの教育』の推進～」および校章は、新設された学校やそこで学ぶ子ども達の成長に期待する保護者や矢部村住民の強い願いが込められています。

校訓「善遊善学（よくあそび、よくまなべ）」に表されている通り、自然豊かな矢部の地で、清らかな水や土に触れ、おいしい空気をたくさん吸って、体験学習や野外活動に汗を流しつつも、一人一人が目標をもって勉学に励むことができる義務教育学校です。前期課程・後期課程の独自性、善遊科・善学科の特性を活かしたカリキュラムを設定し、発達段階に応じた取組の工夫を凝らすとともに、縦割り班を活かした全学年の交流活動により異学年のつながりを大切にしています。

本年度の全校児童・生徒数は1年生から9年生まで計53名と少ないものの、少人数の学校の強みを活かして、学力向上や豊かな心の育成に取り組んでいます。少人数での授業なので、一人一人の発言機会が多く、また、仲間とともに、じっくりと考えを深め合うことができます。教師も個に応じた指導・支援に努め、主体的で対話的な深い学びの授業を展開しています。さらに、一人一台タブレット PC や電子黒板が完備され、ICT 環境も充実しています。後期課程においては、全教科、教科型教室が設置され、各教科の専門性を高めた授業を受けることができます。

本年度の重点目標は「自分の思いや考えを仲間とつなぎ、広げていく子どもの育成～つなごう・広げよう～」です。授業場面での発表や発言はもちろん、清流会活動（児童・生徒会活動）や体験活動等で触れ合う地域の方々との交流を通して、自分の思いや考えを積極的に伝え合い、そして、新たな思いや考えを築き上げることが大切です。自分たちが高めた考えを周りに広げていくことで、将来的にも集団に埋没することなく、周りから認められ、自己存在感や自己肯定感を味わうことができると考えます。

『地域とともにある学校づくり』を目指す本校は、地域学校協働活動が充実しており、地域の方々の協力を得て、朝の登校指導、PTA 活動（資源回収、愛校作業、家庭教育学級等）はもちろん、生活科・社会科・総合的な学習の時間を活用した『八女ふる里学』の取組（茶摘み体験、椎茸栽培、植林体験、伝統継承活動「浮立」、職場体験学習等）や放課後学習会（英会話教室）を積極的に実施しています。